

埋設標識シート

平成17年9月5日仕様制定

1. 適用範囲

この仕様書は、水道管の地中管路等の埋設位置を明示するために、管路上の路床部分に設置して使用する埋設標識シート（以下、「シート」という。）について規定する。なお、この仕様で定めるほかはJIS K 6772の規定に準拠すること。

【備考】次に掲げる規格は、この仕様に引用されることによって、この仕様の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JIS K 6772（ビニルレザークロス）

2. 種類

シートは、用途によって4種類とし、その種類及び幅・色は、表1のとおりとする。

表1 シートの種類、幅、色

種類	幅	色	
		地色	文字色
上水道管用	150mm	水	白
	300mm		
工業用水道管用	150mm	白	黒
	300mm		

注（1）図柄については、付図1・付図2を参照

（2）埋設年シール（地色白、文字色黒）は、本体に貼り使用する。

3. 品質

3.1 材料

本体は、ポリエチレンを主原料とする。埋設年シールは、ポリエステルを主原料とする。

3.2 外観

シートは、印刷が鮮明で表・裏面共キズ・ヤブレ等の使用上有害な欠点がないものであること。

3.3 性能

本体は、土中に長期間埋設しても変色・薄れ・剥離のないものとする。また、シートの性能は、5.3、5.4の試験方法によって試験したとき、表2のとおりとする。

表2 シートの性能

試験項目	性能	試験方法適用項
引張強さ	343N(35kgf)以上	5.3
伸び	10%以上	
埋設年シール接着力	0.49N(0.05kgf)以上	5.4

4. 明示印刷

- (1) 本体の表面には、土中に長期埋設しても変色のないような方法で付図1及び付図2に示す事項を連続印刷する。
- (2) シートは上水道管と工業用水道管に区分し、その図柄は付図1及び付図2のとおりとする。
- (3) 文字及び年号の字体は、角ゴシック体とする。
- (4) 埋設年シールに印刷する年号は、製造年の西暦か、本市の指示する西暦による。

5. 試験方法

5.1 外観試験

完成品について、目視又は手ざわりにより3.2に規定する事項について調べる。

5.2 寸法・構造試験

完成品について、目視及び度器により4.2に規定する事項について調べる。

5.3 引張強さ・伸び試験

JIS K 6772の7.4に基づいて最大荷重及び伸びの測定を行う。但し、試験片は、完成品より長さ方向に抜き取るものとする。

5.4 埋設年シール接着力試験

図-1のように、試料を被着体の中央に貼り合わせ、20分後及び24時間後に図2のように180度剥離を行い、接着力を測定する。但し、試験条件は以下のとおりとする。

- (1) 試料：埋設年シールから、25mm×150mmに抜き取ったものとする。
被着体：本体から、50mm×150mmに抜き取ったものとする。
- (2) 試験速度：300mm/min
- (3) 試験結果：剥離距離20mmから80mmの平均値で表すものとする。

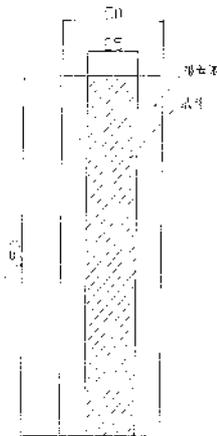


図1

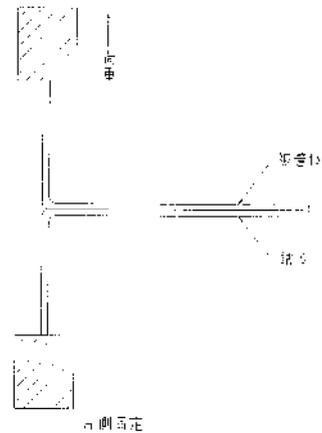
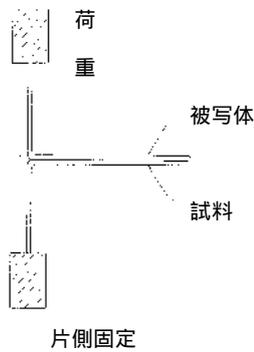


図2

6. 検査

6.1 検査項目及び試料数

検査項目及び試料数は表3のとおりとする。

表3 検査項目及び試料数

検査項目	試料数	ロットの大きさ
(1) 外観検査	3点	20000m又はその端数
(2) 寸法・構造試験	1点	
(3) 引張強さ・伸び検査	3点	
(4) 埋設年シール接着力検査	1点	

の項目は必要と認めたときのみ行う

6.2 外観試験

5.1に規定する方法により、採取方式によって行い、3.2の規定に適合しなければならない。

6.3 寸法・構造検査

5.2に規定する方法により、採取方式によって行い、4.2の規定に適合しなければならない。

6.4 引張強さ・伸び及び埋設年シール接着力検査

それぞれ、5.3、5.4に規定する試験方法により行い、3.3の規定に適合しなければならない。

7. 梱包

シートは、硬質紙箱等におさめ、その外面に品名、寸法、数量等を表示し、輸送中に損傷することがないように包装する。

